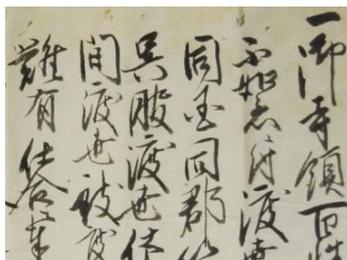


## 実施報告書 館山市立博物館 歴史教室「古文書を読んでみよう」



### 1 講座のねらいと概要

- 博物館で収蔵する江戸時代の安房地域の古文書をテキストとして解読方法を学ぶことにより、身近な地域の歴史に興味を持つとともに、郷土資料を未来へ伝える重要性を実感する機会とします。
- 初心者向けの講座として、同内容の授業を行う4クラスを開講、各8回（計32回）実施しました。



こんな文字が読めるようになります！

### 2 実施日時

令和3年度は、以下のとおり実施しました。

- ①火曜午前クラス いずれも 10:00～12:00  
令和3年 6/15、7/20、10/19、11/16、12/21、  
令和4年 1/18、2/15、3/15
- ②火曜午後クラス いずれも 13:30～15:30  
日程は①と同じ
- ③土曜午前クラス いずれも 10:00～12:00  
令和3年 6/19、7/17、10/16、11/20、12/18、  
令和4年 1/15、2/19、3/19
- ④土曜午後クラス いずれも 13:30～15:30  
日程は③と同じ

### 3 参加者の声

- テキストの文字を見て分からなくても、黒板に書かれた文字を見ていると分かってきます。
- 長く参加していても、なかなか全部読めるようにならないところがおもしろい。
- 新聞の古文書クイズを見て、興味を持ちました。
- 毎月、いろいろな話を聞くのが楽しみです。

### ポイント1 すべてのくずし字を黒板に書きます！

くずし字を解読するためには、実際に手を動かし、書き順を考えながら書いてみるのが大切です。

一般的な古文書講座と異なり、この講座ではテキストの古文書の文字すべてを、講師が黒板にくずし字で書いて説明するため、「書かれた文字を見ているだけよりも分かりやすい」と参加者に好評です。

### ポイント2 リピーターも初心者も大満足！

30年以上続く歴史ある講座のため、10年以上継続して参加される方も数多くいます。初回の授業では、初心者の方もリピーターの方も楽しく学べるように、「まずは少しずつ文字を読む」「文章に慣れる」「書かれた内容を解釈する」など、参加者のレベルに応じた、自分なりの学習目標を設定することを呼びかけています。

### ポイント3 自宅でも学べる古文書クイズ！

新型コロナウイルス感染防止のため、本講座も令和2年以降、何度か中止や延期となりました。こうした状況の下、令和2年4月から地域紙「房日新聞」（房州日日新聞社発行）に、「自宅でじっくり考えよう！古文書クイズにチャレンジ」を不定期で連載し、自宅でも古文書解読を楽しめる機会を提供しました。この連載は現在も続いており、このクイズをきっかけに講座に参加した方もいます。

### 4 成果と課題

- 4クラス合計105名が参加し、多くの方々に古文書の解読や、身近な歴史を学ぶことの楽しさを実感してもらうことができました。
- 感染拡大により講座を延期した際には、参加者から「学ぶ楽しみが無くなってさみしい」「人と出会う機会が減ってしまった」といった声が寄せられ、本講座の役割を実感しました。
- 感染防止策として、令和2年度より1クラスあたりの定員を従来の半数としました。これにより開講クラスを増加しましたが、全体の定員は減少しており、すべての参加希望者を受けられない状況となっています。